

令和6年度 今福まちづくりセンターの主な取組

事業名

広浜鉄道今福線魅力化事業

P

●事業実施に至った背景、目的

幻の広浜鉄道今福線の魅力を手軽に知るための魅力化観光サイトを制作することにより、幅広い地域や年齢層に関心を持ってもらうことを目的として複数の事業を計画、実施した。2年前、今福線沿いに植樹した50本の桜の成長と共に、この活動を次世代へ繋げていきたい。

●事業を実施するまでの課程(関係機関との打ち合わせ等)

・今福線を守る会(今福まちづくり委員会)…今福線の草刈り、路盤整備 年間5回 ・小学生…学習や遊びのため、センターへ来た人に事業の趣旨を伝えて、HP制作の協力を依頼。保護者にも文書で理解を仰ぐ。・島根県立大学村山ゼミ生…10月県大生提案企画、乳幼児や小学生の親子連れとまち歩きをする中で、今福橋梁など今福のお宝を見直すきっかけとなった。12～1月動画編集協力。・依頼企業…HP関連、相談と打ち合わせ

D

今福おさんぽ宝さがし

県立大学生が企画したまちあるき。

親子4組が参加し今福の魅力発見!

桜道に名前をつけよう!

今福線を守る会が植樹した50本の桜道の愛称を募集。4月に発表予定。

今福線環境整備

今福線沿線の草刈り、路盤整備。

年間5回実施。

今福線ホームページ制作

全国でも珍しい新旧交差部分をVR化。地域の有志と動画5本を制作。

第8回今福線ウォーキング大会

幻の広浜鉄道の見どころを堪能できるウォーキング大会。県外からの参加も多数あり。

魅力アップ!



C

●事業実施後の振り返り

- ・「今福線を守る会」による今福線環境路盤整備は、通年事業として多数の地域住民が労苦をいとわず活動されており、地域のため貢献されている。
- ・今あるものをより生かすために、新しい要素(HPやYouTube)を取り入れたことによる波及効果に対応していきたい。
- ・HPの制作にあたっては、地域の子供達や県大生に、幻の広浜鉄道今福線の魅力を伝えることにより、関心を持ってもらい協力を得ることができた。

A

●令和7年度以降の方向性

- ・環境整備事業の継続
- ・50本の桜道関連事業
- ・ホームページ活用
- ・ミニウォーキング
- ・ウォーキング大会のブラッシュアップ

